

5

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス小野教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 23日		~ 2024年 11月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年 10月 23日		~ 2024年 11月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿った支援を行い運動活動や日常生活の中で体験を行えるようにする。	身体を動かす遊びや様々な活動を通して周囲と協力し個々の社会性を身につけられるように意識している。	個々の特性をスタッフが共通理解をする事で子ども達が日々成長の機会が与えられる様に活動プログラムを考えていく。
2	保護者と連絡を取り合い細かな事でも伝えあえる機会を持っている。	子ども自身が周囲の環境を踏まえながらコミュニケーションを図る。日々の挨拶や連絡帳などで気持ちよく行えるようにする。	スタッフ間でのコミュニケーションを密に行い些細な事柄でも話し合いや検討ができる雰囲気づくりを今後もおこなっていく。
3	子ども達が通所を楽しみにしてくれ学校以外での場所になっている。	様々な活動や体験を通じて子ども自身が感じたり学んだりする時間を与えられる様にする。	今後も活動プログラムや個々の特性に合わせて日常生活や行事などに参加し楽しめるようにスタッフ一同努力を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信が行われていない。	個々への連絡は行っているがホームページの在り方や更新等が出来ていない。	個人情報に注意しつつ事業所の存在や活動を知ってもらえる様に取り組んでいく。又保護者に対してオープンスクールのような機会を作り参加してもらえるようにする
2	地域交流が行われていない	学校や施設等の案内で行える事もあるが他の児童に関わる機会は少ない。	地域の情報を取得しながら他事業所との交流機会を増やしていくようにする。
3	災害時の対応や連絡が周知されていない	年二回の避難訓練を行い「三木防災センター」の見学や「非常食体験」を行っているがアンケートでは身近に感じられていない様子である。	災害時に全スタッフが対応できるように避難訓練の行い方や活動の取り組みが行えるようにする。今後も自主防災に取り組める様に検討を行う。